

地域公共交通確保維持改善事業に係る地域内フィーダー系統確保

維持費国庫補助金の事業評価（案）について

協議趣旨

NPO法人わだちが竹岡地区で実施し、及びNPO法人峰上交通が峰上地区で実施している交通空白地有償運送は、国の令和7年度地域公共交通確保維持改善事業の計画認定を受けていることから、同事業の実施要領等に基づき、自己評価（一次評価）を行い、令和8年1月末日までにその結果を国に報告する必要があるため、本案について事業評価を実施する。

【参考】

地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱

（協議会）

第3条

- 5 協議会は、補助対象事業ごとに補助対象事業について評価を行い、その結果について地方運輸局又は地方航空局の長に報告しなければならない。

地域公共交通確保維持改善事業実施要領

8. 事業評価について

（1）事業評価の実施

①自己評価（一次評価）

地域公共交通確保維持改善事業による支援を受けた事業については、毎年度、協議会自らによる事業の実施状況の確認、評価（以下「自己評価」という。）を行い、当該自己評価の結果を、地域公共交通確保維持事業及び地域公共交通調査等事業にあつては、補助金の交付を受けようとする会計年度の1月末までに、地域公共交通バリア解消促進等事業にあつては、補助金の交付を受けた会計年度の翌年度の1月末までにそれぞれ協議会から、地方運輸局、神戸運輸監理部、地方航空局又は沖縄総合事務局（以下「地方運輸局等」という。）に報告するとともに、公表することとする。

令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月 日

協議会名: 富津市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

A:事業が計画に位置付けられた目標を達成した
 B:事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった
 C:事業が計画に位置付けられた目標を達成できなかった

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
NPO法人わだち	竹岡地区交通空白地有償運送	昨年度の達成状況を継続できるよう、安定的な運行を行った。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	A 計画に位置付けられた目標を達成することができた。 【目標】 令和7年度(R6.10~R7.9)利用者数 950人 【達成状況・評価理由】 令和7年度利用者数の実績値は996人であり、1運行当たりの利用者数は3.57人であったため、A評価とした。	今後も利用者動向を注視しつつ、事業者と共に必要な見直しを検討する。 また、地域の医療・商業施設と連携し、より利便性の高い運行方法を検討する。
NPO法人峰上交通	峰上地区交通空白地有償運送	昨年度の達成状況を継続できるよう、安定的な運行を行った。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	A 計画に位置付けられた目標を達成することができた。 【目標】 令和7年度(R6.10~R7.9)利用者数 750人 【達成状況・評価理由】 令和7年度利用者数の実績値は1,189人であったため、A評価とした。	今後も利用者動向を注視しつつ、事業者と共に必要な見直しを検討する。

事業実施と地域公共交通計画／生活交通確保維持改善計画との関連について

令和8年1月 日

協議会名：	富津市地域公共交通会議
評価対象事業名：	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>富津市においては、市外へ通じる幹線交通である鉄道や地域間幹線を運行する路線バスを軸に、市域内に広範に廃止代替バスにより構成される公共交通網が広がっている。</p> <p>これらの公共交通については、商業施設や医療機関が集中している富津市北部や市から北に位置する木更津市の総合病院及び君津市の大規模な商店等が当市民の日常生活機能を担う中で、幹線交通が君津市等に向かう唯一の手段として、車を運転できない高齢者等を中心に、生活に必要不可欠な交通として機能している。また、この幹線交通に通じる廃止代替バスが支線の役割を果たしている。</p> <p>しかしながら、人口減少と自家用車の普及により、当市の公共交通機関の利用者は減少を続け、収支悪化による行政負担の増加をはじめ、運行に様々な問題が発生し、一部地域では、幹線交通と廃止代替バスの乗り継ぎが不十分であり、幹線道路から離れている集落については、そもそも交通手段が確保されていないなど、住民に不便を強いている状況にある。</p> <p>このため、地域公共交通確保維持改善事業により、既存の交通機関で移動手段の確保が困難な地域について、竹岡地区及び峰上地区の交通空白地有償運送により、移動手段を確保・維持することで、住民の生活交通手段を存続させていくことが必要である。</p>

令和7年度 富津市地域公共交通会議（千葉県富津市） （地域内フィーダー系統確保維持事業）

地域の公共交通等の現況・課題

富津市の公共交通は、JR内房線（6駅）、東京湾フェリー、高速バス（5路線）、路線バス（7路線）及び5事業者によるタクシー運行がある。鉄道駅やバス路線沿線に人口の分布がみられるものの、市域に広く居住地が分散し、人口減少及び少子高齢化が進んでおり、また、市全体として、自家用車に対する依存度が非常に高く、78.1%が自動車を所有している（R4.8月実施、市民アンケート）ことから、各交通機関の利用者は全体として減少傾向にあり、公共交通サービスの維持確保が年々難しくなっている。

交通計画の基本的な方針／定性的な目標

- ・交通計画の基本的な方針：市内各地域の特性や実情に即した住民や来訪者の「お出かけ」を支援できるシステム構築を目指す。
- ・定性的な目標：公共交通を必要とする人のニーズにあった交通網の形成

目標を達成するために行う事業の今年度実施状況

「公共交通に関する基本的な方針」において掲げた方針及び目標の実現に向けて、各交通機関の利用促進や、地域にあった移動手段の導入など全16事業を実施している。

主な実施事業としては、平成31年4月から、市内竹岡地区において、NPO法人の運営による交通空白地有償運送事業「ぶちバスわだち（定時定路線型）」を開始した。令和3年10月に実施したダイヤ改正後、今年度においても安定して利用されており、その結果、利用者数は目標としていた950人を超えることができた（令和7年度利用者数996人、1運行当たり3.57人）。

また、令和6年4月からは、峰上地区において当市における二つ目の交通空白地有償運送となる「峰タク（デマンドタクシー）」が本格運行を開始し、地区内住民の移動手段として活躍しており、利用者数は目標値としていた750人を超えることができた（令和7年度利用者数1,189人）。

その他、令和元年7月から、運転免許証を保有していない高齢者等や運転が一時的に困難となる妊産婦に対し、タクシー運賃の一部を助成する「富津市タクシー運賃助成事業」を実施している。

アピールポイント

竹岡地区及び峰上地区で交通空白地有償運送を行っている各NPO法人は、運営スタッフの大部分が地域住民であり、地区住民の移動ニーズを含めた生活実態といった情報について把握しやすい。

主な移動ニーズとなりうる通院需要に応えるため、運行エリア内にある医療機関の診療日に合わせ、火、金の週2回の運行日を設定している。



面積	205.40km ²
人口（R7.4.1時点）	40,166人
15歳未満	3,111人
65歳以上	16,060人
高齢化率	40.0%

交通計画の計画期間

令和5年4月～令和10年3月

協議会開催状況

（令和7事業年度に係るもの）

令和6年6月開催

- ・富津市地域公共交通計画に係る2023年度実施事業の評価及び2024年度事業計画(案)について
- ・富津市地域公共交通計画認定申請書(案)について
- ・峰上地区交通空白地有償運送の更新登録(案)について

令和7年1月開催

- ・竹岡地区交通空白地有償運送の更新登録(案)について

令和7年6月開催

- ・富津市地域公共交通計画に係る2024年度実施事業の評価及び2025年度事業計画(案)について

令和8年1月開催

- ・地域公共交通確保維持改善事業に係る地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金の事業評価(案)について

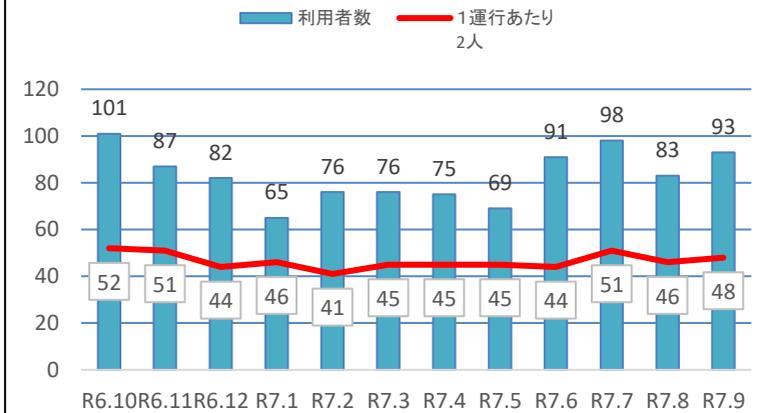
補助対象事業の運行系統図及び実績データ



令和7年度 (R6.10~R7.9) 利用実績

月	計画運行日数	計画運行便数	R7運行日数	R7運行便数	利用者数	1運行あたりの利用者数	1運行あたり2人
R6.10	9	31.5	11	26	101	3.88	52
R6.11	9	31.5	11	25.5	87	3.41	51
R6.12	8	28	10	22	82	3.73	44
R7.1	8	28	9	23	65	2.83	46
R7.2	7	24.5	9	20.5	76	3.71	41
R7.3	8	28	9	22.5	76	3.38	45
R7.4	8	28	10	22.5	75	3.33	45
R7.5	8	28	10	22.5	69	3.07	45
R7.6	8	28	9	22	91	4.14	44
R7.7	9	31.5	11	25.5	98	3.84	51
R7.8	8	28	10	23	83	3.61	46
R7.9	8	28	10	24	93	3.88	48
計	98	343	119	279	996	3.57	558

利用者数と国補助のライン

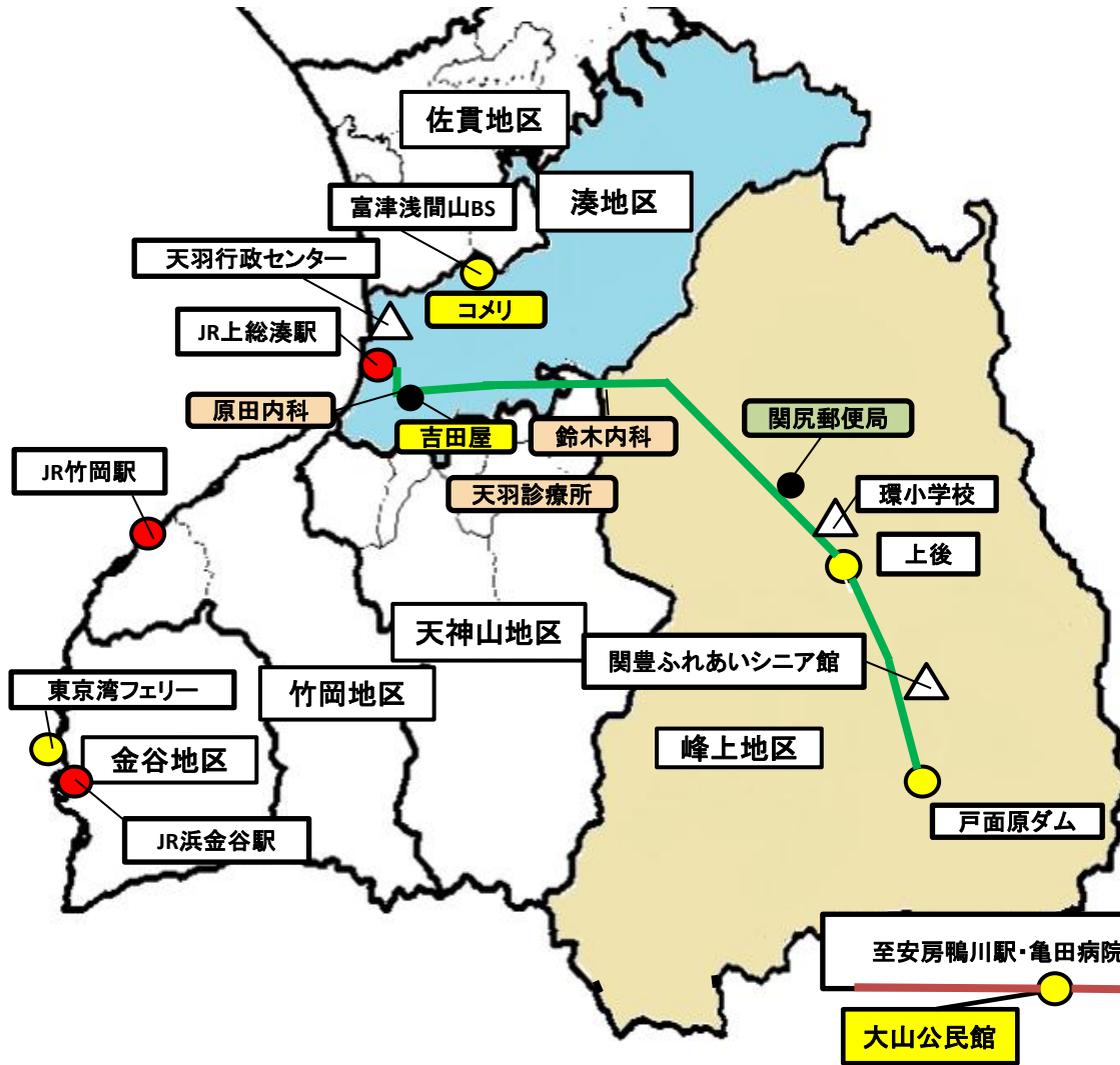


経常収支 (R6.10~R7.9)

経常収益	371千円
経常費用	3,477千円
経常損益	▲3,106千円
経常収支率	10.67%

補助対象事業の運行系統図及び実績データ

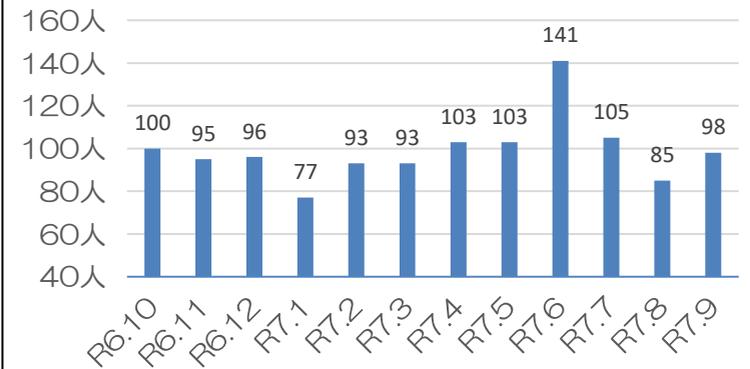
交通空白地有償運送運行区域(峰上地区)



令和7年度 (R6.10~R7.9) 利用実績

月	計画 運行日数	運行日数	延利用者数	運行回数 (片道1カウント)
R6.10	9	10	100	72
R6.11	9	9	95	63
R6.12	8	8	96	68
R7.1	8	8	77	54
R7.2	7	7	93	64
R7.3	8	9	93	62
R7.4	8	8	103	58
R7.5	8	8	103	57
R7.6	8	8	141	78
R7.7	9	9	105	58
R7.8	8	8	85	47
R7.9	8	8	98	52
計	98	100	1189	733

令和7年度月別利用者数



経常収支 (R6.10~R7.9)

経常収益	798千円
経常費用	5,291千円
経常損益	▲4,493千円
経常収支率	15.08%